



### 応援メッセージ

社会の縁の下の力持ちが報いられるように務めて頂きたい。やっける振りだけの政は不要です。

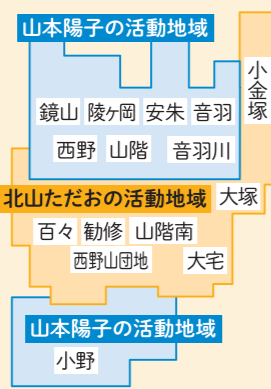
片岡医院院長 片岡正人

子育て奮闘中のママ議員。ママ友、子どもの声を聞いて議会で取り上げ、バイタリティ溢れる陽子さん。頑張れ!

保育士 永井幸子

兵器を買うために増税なんてもっての外! 子どもたちの未来のために平和と豊かな暮らしを! 期待していますよ!

アトリエフジタ主宰 藤田欽平



### 山本陽子のお約束



#### 物価高騰から暮らしと経済立て直す!

- 消費税の5%への緊急減税
- 国保料、介護保険料の引き下げ
- 生活保護、就学援助、児童扶養手当の増額と拡充

#### コロナからのちと暮らしを守る!

- いのち最優先一公共の役割発揮、山科区に保健所の再建を

#### 「行財政改革計画」中止、市民サービスの充実!

- 敬老乗車証の値上げ撤回
- 保育園の補助金カット撤回、保育料値上げストップ
- 学童保育料改定ストップ
- ゴミ袋の負担軽減、値下げ

#### ムダな大型開発・まち壊しストップ、災害に強いまちづくり!

- 巨額の財政負担、北陸新幹線延伸ストップ
- 災害に強いまちづくり、四ノ宮川・安祥寺川の早期改修

#### 住み続けられるまちづくり!

- 障がい者の暮らしの場をふやす
- 学区に一つは安心して遊べる公園の設置、充実
- ラクトスポーツプラザの早期再開
- バリアフリーのまちづくり

#### ジェンダー平等・若者支援を!

- 痴漢ゼロへ安心できる公共交通、生理の貧困解決

戦争あかん!  
消費税5%!  
**日本共産党**

ほんまに  
子育てしやすい  
京都・山科に!

**太陽の陽子**

#### ごあいさつ

市民のいのちと暮らし、平和を守るために、市長に対しても国に対しても、おかしいことはおかしいと言い、また、市民の代弁者として願い実現へ、必ず頑張ります! 是非とも市議会に押し上げてください!!

市会

日本共産党を伸ばして『戦争国家づくり』を止めよう!

京都市会議員

やまもとようこ  
**山本陽子**

プロフィール:京都市議2期。兵庫県丹波市生まれ、48歳。立命館大学産業社会学部卒。大学時代に「障害児学童」で活動。弁護士をめざして司法試験に10回挑戦。家族、中2娘・小6息子。

山科民報

2023年2月 発行:日本共産党東地区委員会 〒607-8344 京都市山科区西野大手先町8-8  
日本共産党東地区委員会は、上記の見解を発表しました。

戦争させない。  
9条変えるな。  
**日本共産党**

ひとを**社会の**  
**中心に**  
あなたの話、聞きます!

府会

福祉・教育の専門家として全国で活躍!  
NHK・教育テレビ(バリアフリーバラエティ)出演。

日本共産党を伸ばして『戦争国家づくり』を止めよう!

日本共産党  
山科なんでも相談室長  
**あかたこちかこ**

プロフィール:大阪生まれ、42歳。京都精華大学卒・立命館大学大学院終了。現在、大学非常勤講師、児童自立支援施設で対人援助や性教育を担当。“思春期アドバイザー”として全国・府内各地で講演活動や相談活動をしている。

山科民報

2023年2月 発行:日本共産党東地区委員会 〒607-8344 京都市山科区西野大手先町8-8  
日本共産党東地区委員会は、上記の見解を発表しました。

統一地方選

府民の立場で、いのちと  
暮らし最優先の京都へ!

自公政権の悪政に審判を下す選挙

市民と日本共産党の共同が政治を変える力です。

北陸新幹線京都延伸に  
物申す!

市民環境研究所 石田紀郎



北陸新幹線は自民・公明の画策で、計画を変更。小浜から美山までは地上、その後は地下40m深で直径12mのトンネルを100km以上。自民・公明・維新は、地上の住民といえども文句は言えないから(「大深度法」)、強引に進める。トンネルを掘って出てくる膨大な土砂をどこに持って行くのか。地下水はどうなるのか。府市民に説明できない限り、実施すべきでない。

環境破壊・住民無視の  
北山エリア開発!

京都橋大名誉教授 高原正興



植物園と賀茂川に囲まれた府立大に27年勤務。大学の体育館が175億円もかかる1万人収容の巨大商業アリーナになり、植物園の環境も損なわれる。住民運動をサポートしてくれるのは共産党の議員さんだけ。他党の議員は「環境破壊、税金ムダ使い、住民無視」を理解されない。私たちの当り前の声を生かしてくれる共産党の議員さんを一人も落とせません。

府政と国政を結んで、  
災害対策で大きな実績!

●知事に管理責任を認めさせ、浸水被害の四ノ宮川、安祥寺川の改修早期実現

府民の命を守る先頭に立ち、府議会で「河川改修の遅れは府の責任」と認めさせた共産党府議会議員。

●大文字登山道の復旧に尽力

9年前の台風18号で崩壊した大文字登山道。毘沙門堂奥で国有林の大規模崩壊で道が寸断。

現場に足を運び、国の近畿中国森林管理局に申し入れ、復旧・整備が実現しました。

参議院議員

**倉林明子**

「オール与党」で  
原発推進?!

—福島を忘れたのか—

9月府議会で府民クラブ(立民・国民共同会派)が、原子力を「不可欠な脱炭素エネルギー」「将来にわたる選択肢として強化する」とする意見書を自民・公明と共同提案し、維新の賛成で可決しました。



# だれひとり取り残さない京都へ

あかたちかこがまずやりたいのは、人の声を聴くこと。特別な人だけじゃなくてこれまで頑張ってきた普通の人やしんどくなくても普通に助けてもらえるシステムをつくりたい。自己責任を押しつける政治を若い世代とともにかえます。

山科なんでも相談室長 あかたちかこ



思春期アドバイザー  
あかたちかこ

## さあ一人ひとりの未来へごいっしょに

安心して子育てできる

- 子どもの医療費助成の拡充
- 子どものご飯を大事に、中学校給食実現。給食費の無償化

学生さんを大切に

- 教育費負担軽減
- 府独自の給付型奨学金の創設
- 卒業しても住みたい京都

ずっとええ感じで暮らせる京都

- 敬老乗車証制度を元に戻す
- 小さな素敵なお店——個人商店と中小企業応援

障がい者が生きられる京都

- 障がい者(身体、心)が自立生活できる支援充実
- 障がい児の親をケアする制度をつくる

ジェンダーとセクシャリティの分野を先進的に

- 京都府にもパートナーシップ制度
- ジェンダー平等で女も男もしんどくない支援

いのちを守る

- 減らされた保健所を元に戻す 検査、療養体制の充実
- お金の心配なく病院にかかる

物価高騰から暮らしを守る

- 賃金アップと男女の賃金格差の是正
- 消費税の緊急減税、インボイス中止



府議会に新風を 日本共産党前府会議員 本庄孝夫

あかたさんは、子どもや若者、女性、働く人たちに寄り添い、人間の尊厳を守る先頭に立ってこられました。感染症福祉、教育の専門家です。府議会に新風を吹き込み、ジェンダー平等社会の実現へ活躍を期待します。



あかたさんの魅力で京都の地を揺さぶろう イラストレーター おかねともこ

共産党はビジョンがはっきりしていると思います。そこにぶっ飛んでいるこの人が加わって、未来への大きな通路を拓いてくれたら、老いも若きも手を取り合って歩いていけるような風穴をあけてくれたらと期待しています。この人の魅力を歴史と実績のある共産党の魅力にかけ合わせて京都の地を揺さぶってほしい。笑いながら、大きな一歩。

ジェンダー平等！人がまん中の社会に 山科在住 長田奈央

これまであかたさんのジェンダー、対人援助、性教育の話聞いた。モヤモヤや疑問に感じてなかったことへの新たな気付きがあった。人と丁寧に向き合いたくなって、「これってどう思う？」と話しをしてみようと思った。きっと人と人をつなぐ場所を作ってくれる、人が真ん中の社会作りに「あかたちかこ」が必要です。全・力・応・援！ 推し！



# コロナ禍、物価高騰の今こそ、暮らし応援、子育て支援を！ 全員制の温かい中学校給食実現を！

学校給食費無償化

高校卒業まで子どもの医療費無料

## 今こそ、全員制中学校給食・給食費無償化を！

全国でも京都でも、ほとんどの自治体で実施済み

京都市議団のアンケート調査では、「小学校みたいにみんなでお食べる給食」を希望する保護者が8割。「成長期に栄養のバランスがとれた食事を」の声が寄せられています。



## 子ども医療費助成制度の拡充を！

京都市は、「入院は中学卒業まで、通院は3歳未満まで(200円)」という京都府の制度に、一切上乘せしていない、京都でただ一つの自治体です。



#困った時は共産党  
コロナ禍、物価高騰から暮らしと生業を守る！

コロナ禍で影響を受ける商店、中小企業、伝統産業の皆さんの声届け、中小業者への固定費(家賃、水光熱費など)等の補助を実現。子育て世帯への「臨時特別給付」で、当初の「半額5万円はクーポン」から、「10万円現金一括給付」を実現。

高い建物が少なく、山と空が見える山科に「高さ規制緩和」撤回！

山科の外環沿いの高さ規制の「無制限」で、ノッポビルが乱立？ それで、市民の暮らしは良くなるのか？ かって、自然豊かな山科の景観や町並みが壊される。昔ながらのお店や景観を守るほうが、山科らしいオンリーワンの町になります。



## 大山崎町では 子育て支援・暮らし応援で人口増加、税収増の好循環！



## 実質102億円の黒字 公共交通、敬老乗車証の充実、災害に強いまちに！

小金塚循環バスの「ボランティア運行」で住民の声を届け、市の責任(財政支援)で「公共交通」の役割を、鏡山や西野・大塚など交通不便解消へ「地域公共交通計画」への反映を求めました。

財政赤字を口実にした福祉切り捨ての「敬老乗車証制度」改悪はストップ。温暖化の影響で猛威を振るう災害。浸水被害の四ノ宮川、安祥寺川の改修早期の実現を。

## 若者の声を政治に届ける カギは賃上げ、教育への公的支出！

街角や高校門前でのアンケート対話で、「高い学費の引き下げ」「将来が不安」の声——「給付制奨学金」「学費の値下げ」を求めました。「大企業の内部留保で中小企業の賃上げ」「公契約条例で賃金確保」——働く人が豊かになってこそ経済も強くなります。

